

平成22年度共同利用・共同研究成果発表会

主催：東京理科大学 総合研究機構 共同利用・共同研究拠点「火災安全科学研究拠点」

「火災安全科学研究拠点」は、平成21年に文部科学省より共同利用・共同研究拠点として認定され、学内外の研究者と協力し実施する共同研究を行っております。
平成22年度は新規課題4件、平成21年度からの継続課題3件の研究

課題について共同研究を行いました。
一年間の共同研究の成果について、成果発表会を開催いたします。
今年もぜひ皆様にご公聴いただき、今後の研究の推進に寄与することを願っております。

開催日時 平成**23**年**7**月**27**日(水) **13:45~16:00**

開催場所 東京理科大学・森戸記念館 (2階第1会議室)

住所：〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-2-2 ※右下の地図をご確認ください。

プログラム

13:45~13:50

挨拶

発表者

辻本 誠

司会

13:50~14:05

新◇原子力発電所の火災安全対策のための火災荷重に関する基礎研究

日立GEニュークリア・エナジー株式会社 原子力計画部

(研究代表者：日立GEニュークリア・エナジー 和田 知弘)

(受入研究者：火災科学研究センター 松山 賢)

河合 宏紀

14:05~14:20

新◇火炎及び煙存在下でテラヘルツ帯電磁波を用いたイメージング及び危険ガス検知の研究

研究代表者：東京大学大学院 総合文化研究科

(受入研究者：火災科学研究センター 松山 賢)

小宮山 進

大宮

14:20~14:35

◇ポリスチレン/ケナフ/ノンハロゲン難燃剤からなる複合材料に関する研究

研究代表者：群馬大学大学院 工学研究科

(受入研究者：火災科学研究センター 松山 賢)

黒田 真一

14:35~14:50

新◇区画内での可燃物の燃焼性状のモデル化に関する研究

研究代表者：京都大学大学院 工学研究科

(受入研究者：火災科学研究センター 松山 賢)

原田 和典

14:50~15:00

休憩

15:00~15:15

◇地震被害を被った鋼構造物の耐火性能

研究代表者：筑波大学大学院 システム情報工学研究科

(受入研究者：理工学部建築学科 大宮 喜文)

鈴木 弘之

15:15~15:30

◇建物内部の室間延焼性状に関する実験的研究

東京理科大学 理工学部建築学科

(研究代表者：京都大学 防災研究所 田中 哮義)

(受入研究者：理工学部建築学科 大宮 喜文)

大宮 喜文

松山

15:30~15:45

新◇天井流の厚み性状に関する研究

研究代表者：横浜国立大学

(受入研究者：火災科学研究センター 山内 幸雄)

岡 泰資

15:45~16:00

講評

菅原 進一

◇参加費：無料

平成23年度は次のような共同研究を実施中です

- 電線ケーブル火災時の燃焼特性の相対比較評価
- 自由空間および区画内での立体的可燃物の燃焼性状に関する実験的研究
- 木板の遮熱効果に関する研究
- 建物火災における泡消火剤による消火活動の作業環境衛生評価
- 煙の視覚的異変感知に関する実験的研究 など

当拠点では、引き続き共同研究を実施しております。
HPをご覧ください！

<http://gcoe.moritalab.com/>

キーワード：火災安全科学研究拠点

火災安全科学研究拠点 |

検索



東京理科大学 総合研究機構 火災科学研究センター
グローバルCOEプログラム「先導的・火災安全工学の東アジア教育研究拠点」

お問い合わせ：東京理科大学 研究事務課
TEL 04-7124-1501(Ext. 5036)

